

あおぞら

行方市 社協だより

No.54 2019.9.1

— 発行者 —
 社会福祉法人
 行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
 ☎ 0299 (36) 2020
 FAX 0299 (55) 4545
 URL <http://www.yokattanet.jp>



のびのびサポート事業

ボランティア及び学生の皆さんと一緒に10日間の日程で実施しました。この事業は、特別支援学校等に通う児童・生徒の皆さんを対象にしたレスパイトケア（育児を一時的に代替えしてリフレッシュしてもらうことを目的とした家族支援）の事業です。皆さんののびのび！10日間元気に楽しく過ごすことができました。



夏の思い出

ビックリ・発見・夏キャンプ

「自立・交流・体験」をテーマに8月6日～7日にかけて白浜少年自然の家において実施しました。104名の方に参加をいただきレクリエーションや交流会を中心としたプログラムで行いました。



もくじ

- 平成30年度
社協事業報告及び決算…………… 2～3
- いきいき長寿者紹介…………… 4
- 社協の事業案内…………… 5
高次脳機能障害について
- お知らせ版…………… 6～7
- 令和元年度共同募金運動…………… 8
善意銀行・編集後記

平成30年度 事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくり～

を目標として主に次のような事業を実施いたしました

【会員数】

- ・一般会員 8,069世帯
- ・賛助会員 42世帯
- ・特別会員 146事業所

【善悪銀行運営事業】

・市民の皆様の温かい善意の寄附金や物品をお預かりしています。寄附された金品は寄附者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

【地域福祉事業】

○地域福祉事業

〈給食サービス事業〉
在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けすることも、声かけや安否の確認をしました。協力者

麻生地区給食ボランティア
ポランティアグループさわやか
北浦地区食生活改善推進委員
玉造地区給食ボランティア
へふれあい給食サービス事業
協力者
ポランティアグループひだまり
〈介護予防事業〉

・サロン活動支援
高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。

・元気でささぐびす館
高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じて交流を目的として実施しました。

【コミュニティ活動の支援】

〈コミュニティ活動の支援〉
・生活支援体制整備事業
地域住民が主体となって住民同士がお互いに助け合う体制づくりを推進しました。

○障害児(者)福祉事業

〈ビックリ・発見・夏キャンプ〉
協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。
〈心のびサポート事業〉
長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかることも、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。

〈こころのサロン〉
こころの病を抱える方を対象に外出の機会を持ち、引きこもり防止の目的で交流会を開催しました。

○障害者団体活動支援

サークルクレヨン、知的障害者自立生活支援の会 テイクム、茨城県立鹿島特別支援学校PTA行方支部の支援を行いました。

○親子ふれあい事業

同じような悩みを持つ家族同士の交流や情報交換の場を提供し、本人・家族を包み込むコミュニティ作りを推進しました。

○障害者スポーツ大会事業

各スポーツ大会への運営協力及び参加者への支援を行いました。

○母子・父子福祉事業
・ひとり親家庭ふれあい遠足
・新入学祝品贈呈

○子育て支援事業

〈子育てサポート事業〉
子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。

○ポランティア活動の推進

〈ポランティア活動の推進〉
ポランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。
〈福祉教育の推進〉
学校等で各種福祉体験学習を実施しました。



○共同募金運動

赤い羽根共同募金運動
10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも戸別募金・学校等募金・イハント募金・設置募金・職域募金を実施しました。
赤い羽根自動販売機4台設置

○歳末たすけあい事業

市内全域において、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが安心して暮らせるよう、民生委員・児童委員、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。

【相談支援事業】

○法律相談事業
弁護士による無料法律相談を毎月1回実施しました。

○日常生活自立支援事業

自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、手続きの代行、利用料の支払いなどを実施しました。

【資金貸付事業】

○生活福祉資金貸付事業
(茨城県社会福祉協議会より事務委託)
低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。

【在宅生活支援事業】

○福祉機器貸出事業
病气やけが、障害者(児)及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。

○福祉車両貸出事業

障害者や高齢者及びその家族の方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。

○訪問歯科治療機器貸出事業

歯科医への訪問治療機器の貸出を実施しました。

○在宅福祉サービスセンター事業

高齢者や障害者(児)に対しポランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。

○在宅言語等リハビリアドバイス事業

言葉の障害(失語症・構音障害・高次脳機能障害)等や嚥下困難のある方を対象に言語聴覚士が自宅に訪問し助言を行いました。

【広報啓発事業】

○社協だより「あおぞら」の発行
(6,9,12,3月)

○ホームページの管理運営

○なめがたエリアテレビ
「映像版あおぞら」として事業紹介を行いました。

○SNS等の活用

【介護保険事業】

○居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネジャー)による居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成、及び電話や来所にて新規の相談、そして自宅へ訪問し、利用者や家族へ介護保険についての相談、また、病院・施設を退院・退所後の在宅生活におけるサービス調整の支援を行いました。

○訪問介護事業

指定訪問介護事業所の運営を行い、要介護の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。



○第一号訪問介護事業

事業対象者、要支援の方にホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。

【障害者福祉サービス事業】

○居宅介護

指定訪問介護事業所(障害者総合支援法)の運営を行い、障害者(児)(身体・知的・精神)への身体介護・家事援助・通院等介護を実施しました。

○同行援護

視覚障害により移動に著しい困難を有する方が外出する際、本人に同行し、移動に必要な情報の提供(代

筆・代読を含む)移動の援護等の外出支援を行いました。

○計画相談支援

指定特定相談支援事業所の運営を行い、相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成、関係機関との連絡調整、障害支援区分認定調査を実施しました。

【地域生活支援事業】

○障害者移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました。



○障害者地域活動支援センター
ドリームハウス

障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。(月々金 9時30分～15時)

【その他社会福祉関連事業】

○新公共交通システム事業

利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。

○福祉バス管理運営事業

住民の福祉向上・増進のための事業に必要な移動の円滑を図るために福祉バスを運行しました。

【当事者団体支援事業】

○行方市老人クラブ連合会

○行方市ボランティア連絡協議会

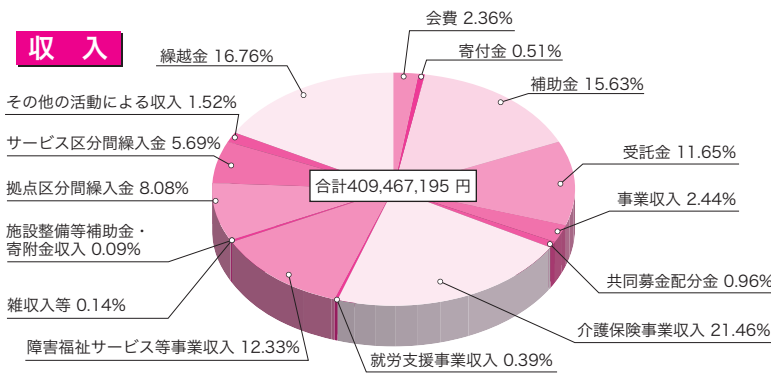
○行方市身体障害者福祉協議会

○行方市遺族会

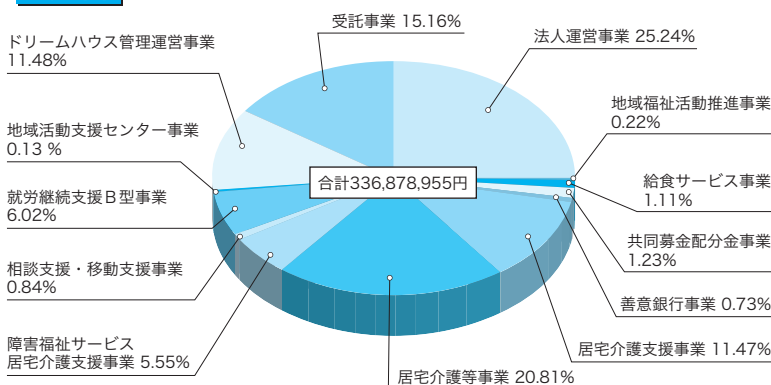
の運営支援を行いました。

平成30年度 決算報告

収入



支出



(単位:円)

| | |
|----------------|-------------|
| 会費 | 9,675,800 |
| 寄付金 | 2,080,397 |
| 補助金 | 63,988,400 |
| 受託金 | 47,722,379 |
| 事業収入 | 9,985,614 |
| 共同募金配分金 | 3,936,971 |
| 介護保険事業収入 | 87,857,754 |
| 就労支援事業収入 | 1,615,377 |
| 障害福祉サービス等事業収入 | 50,492,264 |
| 雑収入等 | 563,259 |
| 施設整備等補助金・寄附金収入 | 349,000 |
| 拠点区分間繰入金 | 33,069,213 |
| サービス区分間繰入金 | 23,291,619 |
| その他の活動による収入 | 6,231,840 |
| 繰越金 | 68,607,308 |
| 合計 | 409,467,195 |

| | |
|----------------|-------------|
| 法人運営事業 | 85,033,046 |
| 地域福祉活動推進事業 | 731,718 |
| 給食サービス事業 | 3,727,770 |
| 共同募金配分金事業 | 4,159,733 |
| 善意銀行事業 | 2,460,902 |
| 居宅介護支援事業 | 38,641,607 |
| 居宅介護等事業 | 70,098,053 |
| 障害福祉サービス居宅介護事業 | 18,711,565 |
| 相談支援・移動支援事業 | 2,827,322 |
| 就労継続支援B型事業 | 20,296,017 |
| 地域活動支援センター事業 | 424,602 |
| ドリームハウス管理運営事業 | 38,687,454 |
| 受託事業 | 51,079,166 |
| 合計 | 336,878,955 |

いきいき長寿者紹介

石毛 スイ子さん 94歳(行方市四鹿)



「こんにちは」と声をかけると、とても94歳とは思えないさっそうとした動きで私たちを出迎えてくれました。

石毛さんは、杉平の生まれ、昭和24年に結婚をされ3人のお子さんにも恵まれました。昭和42年まで銚子に住んでいましたが、旦那さんの仕事の関係で生まれ育った地に戻ってきまし



はならない存在のようです。

午後の日課は、優先順位第一の80歳から始めたゲートボールです。今

でも現役！毎日17時まで地区のゲートボール場でプレーしています。審判員の資格も取得され試合の時には、記録員として頑張っているそうです。



たそうです。

石毛さんの健康は、見た目はもちろん全てにおいて健康そのものといった感じですよ。

これからの目標

今年も、行方市老人クラブ連合会スポーツ大会のゲートボールの部に出場、残念ながら優勝とは成りませんでした。選手としてチームに貢献されました。

「オリンピックはもちろん！100歳まで頑張ります。」とみんなに助けられてここまで来ている。本当に皆さん優しいです。周囲の方が優しいのは、石毛さんのお人柄が良いからだと思えます。

好きな食べ物、嫌いな食べ物聞いてみると「なんでも食べますよ、毎朝、必ず肉を食べています。飲み続けて40年、ごく

だみも飲んでいきます。」と聞いていました。石毛さんは、内臓の病気をしたことがないそうです。今でも薬を飲んでいません。骨密度が、高校生並だと言われ

一時間という取材時間終始笑顔で答えていただきありがとうございます。ございました。

最後に、これからも健康第一！お体に気を付けて元気にお過ごしください。

私の一日

毎日の日課で、朝のお勤めをして、6時から14時まで親戚のお弁当屋さんの手伝いに行きます。これも、30年ほど前から手伝っているそうです。石毛さんの担当は煮物です。お弁当屋さんにとって石毛さんは、なくて

社協事業案内 ～在宅生活支援事業～①

★こんなサービスあったんだ!★

無料 福祉機器貸出

病気やけが、障害者(児)及び高齢者の方など一時的に福祉機器が必要となった方に貸出をしています。

(貸出期間 3か月)

▼子供用車いす



- 子供が足を骨折してしまったので車いすを貸してほしい。
- おじいちゃんの退院が決まり、一時的に退院時車いすを貸してほしい。
- おばあちゃんの、介護申請をしたけれど、認定が下りるまで貸してほしい。
などなど・・・詳細につきましてはお問い合わせください。

燃料費のみ自己負担 福祉車両貸出

車いすのまま乗り入れできる福祉車両を使用して高齢者・障害者(児)等が気軽に外出を楽しんだり、病院への通院などにもご利用できます。

- *普通車タイプ：車いす2台+8名乗車可能
- *軽乗用車タイプ：車いす1台+2名乗車可能



- 車いすのおじいちゃんを、旅行と一緒に連れていきたいので福祉車両を貸してほしい。
- 病院へ行くのに、歩くのがつらくて車いすと福祉車両を貸してほしい。
などなど・・・詳細につきましてはお問い合わせください。

ご存知ですか？

高次脳機能障害

高次脳機能障害とは頭を強くぶついたり、脳卒中等の病気で脳に受けたダメージを原因とした後遺症です。

主な症状

- ・新しいことが覚えられなくなる
- ・気が散りやすく作業を長く続けられない
- ・段取りよく仕事ができなくなる
- ・ささいなことで怒ったりイライラする



高次脳機能障害は誰にでも起こりうる障害です。一人で悩まないでお気軽にご相談ください。

相談先

茨城県高次脳機能障害支援センター TEL：029 - 887 - 2605

ホームページ(茨城県高次脳機能障害支援センター)

<http://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/riha/sodan/kojino/index.html>

目指せ！ねんりんスポーツ大会

第4回 行方市老人クラブスポーツ大会開催される

6月26日(水) 行方市北浦第1グラウンドで、第4回行方市老人クラブスポーツ大会(クロッケーの部・ゲートボールの部・ペタンクの部・輪投げの部)を行いました。

また、7月9日(火)には、天王崎公園にて、麻生・北浦・玉造の各地区予選大会を勝ち抜いた総勢90名によるグラウンドゴルフの部が行われました。

【クロッケーの部】

【優勝】

東寿会

【準優勝】

千歳会

【第3位】

本宿クラブ・永寿会



東寿会

【ゲートボールの部】

【優勝】

白浜チーム

【準優勝】

豊和チーム

【第3位】

和楽会チーム



白浜チーム

【ペタンクの部】

【優勝】

永寿会 A

【準優勝】

上山老人クラブ A

【第3位】

永寿会 B



永寿会 A

【輪投げの部】

【優勝】

両宿長寿会

【準優勝】

松寿会

【第3位】

鶴亀老人クラブ



両宿長寿会

【グラウンドゴルフの部】(敬称略)

【優勝】内藤 智恵美 【第3位】今泉 忠男 【第5位】野原 亨

【準優勝】三枝 卓爾 【第4位】成島 恵美子 【第6位】菅谷 強

なお、各種目の優勝チーム及びグラウンドゴルフ上位6名の方は、10月23日(水)に那珂総合公園で行われる第24回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会への出場が予定されています。



ボランティア連絡協議会からのお知らせ

11月9日(土) 10日(日)に開催されます行方ふれあいまつりにおいて、会場内で11月9日にチャリティーバザーを行います。大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

また、ボランティア連絡協議会では会員を募集しています。現在ボランティア活動を行っているグループや個人の方、これからボランティアを始めようとしている方等、研修会や交流等を通して私たちと活動してみませんか。興味のある方は、社会福祉協議会へお問合せください。



ひとり一品運動

矢幡区民からの善意

(米や缶詰 156.4 キロを贈る)

本会で推進しているフードバンク活動「ひとり一品運動」に矢幡区が賛同くださり8月4日(日)に太田地区館を会場として実施しました。

区民の方々に7月の市報(ひとり一品運動チラシ)で呼びかけを行い多くの区民の方に協力をいただき貴重な食材が集まりました。この食材は、フードバンク茨城へ寄贈し、必要としている方々に提供されます。



※区民の方の感想



今回配布された市報のチラシをみて恥ずかしながらもじめて「フードバンク」を知りました。

しかし、孫は、なめテレのフードバンクCMを観て知っていた様子で「おすそ分けでしょ?」と活動を知っていました。今日は孫と二人でおすそ分けを届けに参りました。地域と家庭で取り組める福祉活動と感じました。

このような活動が他の地域でも取り組まれることを願っています。

自然を満喫! ふれあい遠足参加者募集

～親子でバーベキューを楽しもう～

期 日 令和元年11月24日(日)
行 先 奥日立きららの里
 〒311-0402 茨城県日立市入四間町863-1
内 容 自然体験・バーベキュー・アスレチック遊び・動物触れ合い等の屋外体験



参加対象者 行方市在住の母子・父子家庭の方

募集人数 30名

参加費 大人:500円 高校生以下:無料 ☆参加費は当日集めます。

申込期限 令和元年10月31日(木)

申込方法 電話またはFAX・メール

申込みの際には、保護者の氏名・お子様の氏名、年齢(学年)、住所、連絡先をお申し出ください。応募多数の場合、抽選により決定いたします。

参加者の決定 令和元年11月8日(金)までに、お申込みいただいた方全員に参加の可否をご連絡いたします。

そ の 他 1. 園内での昼食バーベキュー以外は各自負担になります。
 2. 天候等の状況により、内容が変更になる場合があります。
 ☆ご不明な点はお問い合わせください☆

 この事業は赤い羽根共同募金配分金により実施しております。

行方市善意銀行

令和元年5月16日から7月31日までに善意をお寄せいただいた方々をご紹介します。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄附に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄附金・預託金 (順不同・敬称略)

寄附金

| 預託者名 | 金額(円) | 指定先 |
|-----------------------|---------|-----|
| 行方市商工会女性部 | 2,128 | 無指定 |
| 絆結会 | 90,543 | 無指定 |
| なめがた湖魔女委員会 | 13,803 | 無指定 |
| 一四同窓会 (麻生小昭和14年入学) | 102,929 | 無指定 |
| 川島有紀音楽事務所 | 25,000 | 無指定 |
| 行方市立麻生小学校児童会 | 6,000 | 無指定 |
| 宮内 勲 | 30,000 | 無指定 |
| 匿名 | 20,000 | 無指定 |



絆結会



麻生小学校

敬老の日が近づきます。長きにわたり社会につくしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝う日であります。その由来を辿ると、兵庫県多可郡野間谷村が昭和22年9月15日に「敬老会」を開催したのが「敬老の日」の始まりです。村長である門脇政夫氏が「老人を大切に、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう」という思いから開いたそうです。門脇村長は県内市町村にも祝日制定を働き掛け、昭和25年には、兵庫県が「としよりの日」を制定、その後、中央社会福祉協議会が9月15日を「としよりの日」と定め、さらに昭和41年には国民の祝日「敬老の日」が制定されました。

例えば、玉造西地区でも子ども達と地域が一体となって、お年寄りに感謝の気持ちを伝えています。西小はやしの会、区長さんや有志の協力で長く続けられている「三世代ふれあい敬老祭り」です。今、地域力が無いといわれますが、このような事業を行うことで、交流が深まり、人と人とを結びつけているような気がします。

お年寄りの皆さまには、元気に長生きされ、わたしたちの道標になって欲しいと思います。

今月号から福祉事業をより解り易く、シリーズでご案内致します。利用される時の参考にして頂きたいと思っております。ここに「あおぞら」第54号をお届けできますことを御礼申し上げます。 広報委員 菅谷 京子

編集後記



令和元年度 共同募金運動

◇ 赤い羽根共同募金運動 ◇

(10月1日～12月31日)

本年度も10月1日から、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に始まります。



行方市でも、各地区における戸別募金をはじめ、街頭募金やイベント募金、そして事業所の協力による募金など、募金運動を展開する予定となっております。

また、皆様からお寄せいただいた募金は、市内の地域福祉活動に役立てさせていただきます。

◇ 歳末たすけあい事業 ◇

(12月1日～12月31日)

歳末たすけあい事業は、市内に在住する支援を必要としている方々へ新たな年を迎える時期に、家事援助等のサービスを実施しています。



○ 昨年度歳末たすけあい事業の様子



草刈り



窓掃除

お問い合わせ先

茨城県共同募金会 行方市共同募金委員会
〒311-3512 茨城県行方市玉造甲403
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
TEL: 0299(36)2020

広報委員

| | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 磯山 正子 | 委員 | 代々城千尋 |
| 副委員長 | 熊谷 一男 | | 高柳 利子 |
| 委員 | 金井 裕子 | | 大原 孝 |
| | 菅谷 京子 | | 横田 照実 |
| | 平山 寛児 | | 漢那 浩子 |

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報 なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。